

2025年1月16日
株式会社中央公論新社
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社ブックスキヨスク

イコカ本大賞受賞作品「八日目の蟬」 著者 角田光代のトーク&サイン会を開催します

JR西日本と本屋大賞実行委員会が共に実施した文学賞「ほな西へいこか本大賞（以下「イコカ本大賞」）」に「八日目の蟬」が決定したことに伴い、株式会社ブックスキヨスク（所在地：兵庫県尼崎市、代表取締役：玉永信彦）が運営する『ブックスタジオ大阪店』において、著者・角田光代のトーク&サイン会を開催いたします。
※イコカ本大賞とは、「読むと西エリア（関西・北陸・せとうち・山陰・九州）のどこかへ旅にでかけたくなる日本の『文庫本』小説」を決定する文学賞です。

※「イコカ本大賞」特設ページ：https://www.hontai.or.jp/history/index_icoca.html



1. 開催日時

2025年1月26日（日）13：00～14：00

2. 場所

ブックスタジオ大阪店（大阪府大阪市北区梅田 3-1-1）



tabiwa公式キャラクター
たびわだ
旅輪田カバーン

3. イベント概要

13：00～13：30 トーク会（開場時間12：45ごろ）※定員30名

13：30～14：00 サイン会

*時間は予定です。

*トーク会の参加には、事前にブックスタジオ大阪店で配布する整理券が必要です。整理券は、予定枚数終了次第締め切ります。整理券は本プレスリリース以降の配付となります。

*トーク会後に開催されるサイン会にはトーク会の整理券をお持ちの方から優先的にご案内いたします。

*サイン会の参加には、「八日目の蟬」の単行本または文庫本を必ずお持ちください。当日、会場でもお買い求めいただけます。



【大賞受賞作品】

『八日目の蟬』（角田光代著／中公文庫）

直木賞作家・角田光代が全力を注いで書き上げた、心ゆさぶる傑作長編。不倫相手の赤ん坊を誘拐し、東京から名古屋、小豆島へ、女たちにかくまわれながら逃亡生活を送る希和子と、その娘として育てられた薫。偽りの母子の逃亡生活に光はさすのか、そして、薫のその後は——!？
極限の母性を描く、ノンストップ・サスペンス。第2回中央公論文芸賞受賞作。



(c)三原久明

【角田 光代（かくた みつよ）】

■プロフィール

1967年神奈川県生まれ。早稲田大学第一文学部文芸科卒業。90年「幸福な遊戯」でデビュー。96年『まどろむ夜のUFO』で野間文芸新人賞、2003年『空中庭園』で婦人公論文芸賞、05年『対岸の彼女』で直木賞、07年『八日目の蟬』で中央公論文芸賞、11年『ツリーハウス』で伊藤整文学賞、12年には『あなたの子』で泉鏡花文学賞及び『紙の月』で柴田錬三郎賞を、14年『私のなかの彼女』で河合隼雄物語賞、21年『源氏物語』の完全新訳で読売文学賞を受賞。その他の著書に『月と雷』『坂の途中の家』『タラント』『方舟を燃やす』、エッセイ集『世界は終わりそうにない』『月夜の散歩』などがある。